

令和 3 年10月15日

2014-2019年度の岩木健康増進プロジェクト健診へご参加いただいた  
皆様へのお願い

大正製薬株式会社は、2014年度-2019年度の健診で得たデータを用いて、「かぜ・疲労・毛髪領域の症状における生体関連因子の関係性解明」の研究をさせていただくことになりました。これにより、かぜ・疲労・毛髪領域についてプレシジョンヘルスケアの観点から疾病・症状と生活者個々の体質や状態の関係性を明らかにする予定です。

個人情報はいままで同様弘前大学において厳重に管理しますので（責任者：中路重之）、この研究への利用により皆様が不利益になるようなことはございません。

この研究への利用を拒否する場合は下記に添付した**情報利用提供停止願**いを下記の連絡先まで送付して下さい。ご承諾いただける場合は何も提出する必要はありません。

今回、この研究への利用を拒否する、しないは皆様方の自由であり、拒否することにより何ら不利益をうけることはありません。

今回の件について、ご不明の点、ご相談、クレームなどがある場合は下記の連絡先までご連絡下さい。

研究の詳しい説明につきましては、次項を御覧ください。

【お問合せ先および情報利用停止願送付先】

弘前大学大学院医学研究科 附属健康未来イノベーションセンター  
センター長 中路重之  
住所：〒036-8562 弘前市在府町5  
電話：0172-39-5442

## 研究の詳しい説明

1. 今回、大正製薬株式会社と弘前大学が共同して行う「かぜ・疲労・毛髪領域の症状における生体関連因子の関係性解明」（研究責任者：玉田嘉紀）は、「岩木健康増進プロジェクト健診」の健康ビッグデータを活用し、かぜ・疲労・毛髪領域についてプレシジョンヘルスケアの観点から疾病・症状と生活者個々の体質や状態の関係性を明らかにすることが目的です。これにより、皆様に寄り添ったソリューションを提供することが可能となり、将来的には健康寿命の延伸およびQOLの向上に貢献できます。具体的には以下の3点について解析します。  
  
課題① かぜのひきやすさと生体因子、生活因子、社会環境因子との関係性解明  
課題② 薄毛・白髪と生体因子、生活因子、社会環境因子との関係性解明  
課題③ 疲労と生体因子、生活因子、社会環境因子との関係性解明
2. 利用する検体およびデータ：新たに検体採取などのご協力をお願いすることはありません。現在弘前大学に保管されている2014年度-2019年度の健診で得た色々なデータを用いて解析します。匿名化（とくめいか）して、誰のものかわからないようにしたものを使います。
3. この研究への利用を承認しない場合は、**情報利用提供停止願**いを「弘前大学大学院医学研究科健康未来イノベーションセンター中路重之」宛にお送りください。その場合、それによってあなたが不利益をこうむることはありません。情報利用停止願を受け取った後にデータがこの研究に利用されることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されている場合には、公表済みの結果を訂正することができませんので、あらかじめご了承ください。  
**ご承諾いただける場合には、ご連絡の必要はございません。**
4. 研究に利用されるデータの項目等より詳しい研究の内容は、研究計画書に記載されています。どなたでも個人情報や知的財産権の保護に支障がない範囲で研究計画書をご覧いただけますので、ご希望の場合はお問い合わせください。